

「より市民に開かれた信頼される議会」を目指して

白石市議会議長  
佐久間 儀 郎

市

民の皆さま、明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年を振り返ると、東日本大震災に起因する東京電力福島第一原子力発電所事故から端を発した放射能問題のうち、通学路の除染につきましても完了し、子どもたちの通学には、安全が確保されました。

しながら、イノシシの繁殖増加による問題は、農作物被害にとどまらず、車両や列車への衝突など、深刻な問題であると受けとめております。そのほかにも、汚染廃棄物の処理、補償問題など、解決にはまだ時間がかかるものと思っておりますが、市議会においても、今後も引き続き、議員一丸となって市民生活の安心・安全のために活動してまいりたいと考えております。

さて、「消滅可能性都市」に本市も上げられておりますが、昨年は、特色あるまちづくりを進めるため、地方創生事業を活用し、「食味日本一の『しろいし米』復活プロジェクト」がスタート。「しろいし米」が特別優秀賞を受賞するなど大きな話題となりました。

今後も、白石市としての新たな

なオリジナルブランドの発掘ならびに推進に努めなければならぬと考えております。

一方で、本市議会は、昨年中、話題に上っておりますが、政務活動費に關しまして、県内の各市に先がけ、ホームページ掲載を行っており、どなたでも閲覧することが出来ます。

さらに、議会だよりや議会傍聴に加えて、平成26年度から実施しております議会中継のインターネットによる配信とともに、「議会基本条例」に基づく「市民との意見交換会」を行ってまいりました。市民の皆さまからのご意見を伺い、「議会」「議員」を身近に感じていただくことも、「市民との意見交換会」にお越しの上、地域の問題や課題を、膝を交えながらお聞かせいただき、今後の市政の発展に活かしてまいりたいと思っております。

このように「より市民に開かれた信頼される議会」を目指し、なお一層皆さまのご期待に応えられるよう、山田市長はじめ市当局と、本市の両輪として機能するよう努めていかなければならないと決意を新たにしております。

市民の皆さまにおかれましては、今後とも格別なご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 新たな年がスタート

～2017年 新年のごあいさつ～

「市民の笑顔あふれる白石」の実現を目指して

白石市長  
山 田 裕 一

新

年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が放送され、初代片倉小十郎景綱公や阿梅姫が登場しました。これを記念した「真田丸企画展」、そして、大坂夏の陣における真田軍と片倉軍の激闘や大坂城落城前夜、真田幸村公が敵将である2代片倉小十郎重長公に、阿梅姫や子女たちの後事を託す歴史秘話を再現した「鬼小十郎まつり」道明寺の合戦」には、多くの皆さまにお越しいただきました。

また、かつて、食味日本一を獲得したササニシキを復活させようと、地方創生事業を活用した「食味日本一の『しろいし米』復活プロジェクト」が、認定農業者の有志5人によってスタート。復活した「しろいし米」は、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」の都道府県代表お米選手権部門において、特別優秀賞を受賞しました。

さらに、宮城県内の市町村の魅力を紹介するKHB東日本放送主催の「みやぎふるさとCM大賞」に、「しろいし米」復活プロジェクトを題材に、「一粒から千の実りをつ

なかりを」という作品で出品したところ、昨年度受賞した最高賞の「KHB大賞」に次ぐ、金賞に輝くなど、明るい話題が続きました。

本年は、これらを弾みとし、「第5次白石市総合計画」に基づき進めている既存事業と、「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を推進するため、「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた施策を一体として取り組み、人口減少対策という喫緊の課題に、的確に対応してまいります。

加えて、地域医療・放射能対策の充実やイノシシなどの有害鳥獣対策の強化、また、教育・子育て環境の充実、さらに、にぎわいの創出など、公約に掲げたことを実現するため、努めてまいりたいと考えております。

市民の皆さまとともに、白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」の実現に向け、全力を傾注し取り組んでまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、今後の市政運営に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この1年が皆さまにとりまして、輝かしい年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

